

薬剤部

コロナ太りが引き起こす 脂質異常症

脂質異常症とは？

「コロナ太り」というワードを、よく耳にするようになりました。運動不足やストレスによる体重の増加は、血中の**コレステロール**や**中性脂肪**に大きく影響します。これらの基準値を大きく逸脱することを、脂質異常症といいます。



LDL コレステロール・中性脂肪の増加



HDL コレステロールの減少

脂質異常症は生活習慣病の一つで、**心筋梗塞**や**脳梗塞**などの引き金になると言われています。

どんな治療法があるの？

脂質異常症の治療は、**生活習慣の改善が中心**です。運動療法や食事療法で目標の値にならない場合の補助として、脂質異常症治療薬が使われます。

食事



運動



節酒



お薬



お薬が治療を
お手伝い！

脂質異常症の治療薬

脂質異常症の治療薬はHDLコレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪の値をコントロールするのに使われます。

		HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
スタチン (HMG-CoA還元酵素阻害薬)	プラバスタチン ピタバスタチン アトルバスタチン ロスバスタチン リボバス ローコール	↑	↓	↓
フィブラート	リピディル ベザトール パルモディア フェノフィブラート	↑	↓	↓
陰イオン交換樹脂	コレバイン	↑	↑	↓
小腸コレステロール トランスポーター 阻害薬	エゼチミブ	↑	↓	↓
ニコチン酸誘導体	ユベラン	↑	↓	↓
プロブコール	シンレスタール	↓	↓	—
多価不飽和脂肪酸	エパデールS900 ロトリガ粒状 カプセル	—	—	↓

矢印の大きさは影響の強さ

↑：増加、↓：減少を表します

脂質異常症は症状が現れにくい病気のため、薬の飲み忘れが多いと言われています。しかし、脳梗塞や心筋梗塞などの血管が詰まる病気のハイリスクとなっています。生活習慣の改善に加え、お薬を正しく使って血管障害のリスクを減らしましょう。



忘れずに、
毎日飲もう！